

貝毒プランクトン調査

調査年月日	令和2年6月19日	プランクトンモニタリング結果 (単位: cells/ml)								
種類 / 地点番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	魚神山	家串	柏崎	室手	平山	外泊	成川	深浦	船越	
<貝毒プランクトン>										
アレキサンドリウム属			0		0.020		0.002			
ギムノディニウム・カテナータム			0		0.932		0.181			
ディノフィシス属			0.003		0.410		0.094			
<有害プランクトン>										
カレニア・ミキモトイ			0		0		0			
コクロディニウム・ポリクリコイデス			0		0		0			
ゴニオラックス・ポリグランマ			0		0		0			
シャトネラ属			0		0		0			
状況	<p>平山及び成川において危険濃度を上回るギムノディニウム・カテナータムが確認されました(本種の危険濃度は0.1 cells/ml)。</p> <p>御荘湾、柏崎および深浦では二枚貝の出荷自主規制が講じられています。二枚貝の採取・喫食を控えるとともに、今後の動向にご注意ください。</p> <p>0,3,5 m各層等量混合海水1000 mlを濃縮検鏡。</p>									

